

平成29年度事業概要

平成29年4月



国土交通省中部地方整備局

高山国道事務所

目 次

1. 高山国道事務所の使命	・ ・ ・ ・ ・ 1
2. 魅力・活力あふれる飛騨地域の実現	・ ・ ・ ・ ・ 3
2-1 地域間の交流・連携を活発にする道づくり	・ ・ ・ ・ ・ 3
2-2 使いやすく快適で円滑な道づくり	・ ・ ・ ・ ・ 6
3. 様々な危機に対応できる安全・安心な地域づくり	・ ・ ・ ・ ・ 12
3-1 災害に強い安全・安心な道づくり	・ ・ ・ ・ ・ 12
3-2 災害支援	・ ・ ・ ・ ・ 21
3-3 「道の駅」による地方創生拠点の形成	・ ・ ・ ・ ・ 23
4. 高山国道事務所の概要	・ ・ ・ ・ ・ 25
4-1 高山国道事務所事業費	・ ・ ・ ・ ・ 25
4-2 平成29年度の事業内容	・ ・ ・ ・ ・ 26
4-3 高山国道事務所管内事業箇所	・ ・ ・ ・ ・ 27
4-4 高山国道事務所の組織及び職員構成	・ ・ ・ ・ ・ 28

1. ^{たかやま}高山国道事務所の使命

魅力・活力があふれる安全・安心な^{ひだ}飛騨地域 ～^{ひだ}飛騨の魅力の世界へ伝えるための道づくり～

^{ひだ}飛騨地域は、^{ひだ}飛騨^{たかやま}高山・^{げろ}下呂・^{しらかわごう}白川郷・^{おくひだ}奥飛騨温泉郷といった世界に通用する有数の観光資源を有しています。

近年では、外国人観光客誘致に向けた観光周遊ルート（昇龍道プロジェクト、サムライルート・^{ほくりくひだ}北陸飛騨3つ星街道）の設定や北陸新幹線開業、平成39年のリニア中央新幹線開通予定など、産業振興に期待されています。

一方、^{ひだ}飛騨地域は、山岳地域であり、近年の局地的大雨や記録的な大雪などの災害により、橋梁の流出や倒木による通行止めが発生し、集落の孤立や物流の寸断など日常生活への影響にとどまらず、産業振興の妨げとなっています。

周辺地域と連携し、このような状況に対応するためには、東西・南北軸のネットワークの形成、観光期における渋滞緩和、安全で円滑な交通の確保、災害発生時の迅速な支援が必要です。

このため、^{たかやま}高山国道事務所では、「魅力・活力のあふれる飛騨地域の実現」、「様々な危機に対応できる安全・安心な地域づくり」という使命のもと地域づくりに貢献します。

魅力・活力あふれる飛騨地域の実現

【地域間の交流・連携を活発にする道づくり】

^{ほくりく}北陸と首都圏を結ぶ^{ちゅうぶしゅうかん}中部縦貫自動車道、太平洋側と日本海側を繋ぐ国道41号の整備により、「産業競争力を高める」、「安全で快適空間」のネットワークを形成し、産業振興を支えます。

【使いやすく快適で円滑な道づくり】

渋滞対策や交通安全対策を推進することにより、観光期等の交通集中による渋滞が招く地域生活への影響を緩和し円滑な交通の確保に貢献します。

様々な危機に対応できる安全・安心な地域づくり

【災害に強い安全・安心な道づくり】

防災対策等を推進することにより、道路の安全な通行を確保し、災害時等における集落の孤立化を防ぎ、物資輸送路の確保等に貢献します。

【災害支援】

大規模な自然災害等に際して被災状況の把握や被災地方自治体の支援を行い、被災地の早期復旧のための技術的支援を迅速に進めます。

魅力・活力があふれる安全安心な飛騨地域を目指して



2. 魅力・活力あふれる飛騨地域の実現

2-1 地域間の交流・連携を活発にする道づくり

北陸と首都圏を結ぶ中部縦貫自動車道、太平洋側と日本海側を繋ぐ国道41号の整備により、「産業競争力を高める」、「安全で快適空間」のネットワークを形成し、産業振興に貢献します。

産業振興に必要な地域間の交流・連携を活発にする道づくりを実現するために、ネットワークの形成を行っていきます。

(1) 北陸と首都圏を結ぶ東西軸の強化

北陸と首都圏を結ぶ東西軸である中部縦貫自動車道が整備されることにより、高速交通サービスの提供、高山市内の交通混雑の緩和、さらには地域産業振興や観光リゾートとしての地域発展の支援等に寄与します。

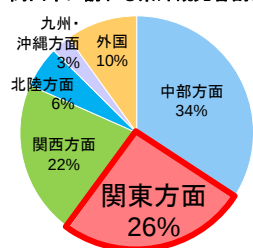
<中部縦貫自動車道の整備により更なる観光客の獲得が期待>

飛騨地域周辺では、平成26年度に北陸新幹線(長野～金沢間)の開業により、金沢～高山間や富山～奥飛騨間のバス本数が増便し、飛騨地域と北陸方面との結びつきがさらに強くなっています。

さらに、中部縦貫自動車道が整備されることにより、飛騨地域が首都圏と北陸方面を結ぶネットワークの中心(ハブ)としての機能を果たし、観光資源を相互に結びつけることで、エリア(面)や軸(ルート)の観光となり、より首都圏と北陸方面との結びつきが強くなります。

特に、高山～新宿間では、所要時間が約50分短縮され、輸送コストも低下し、首都圏を含む関東方面からの更なる観光客の獲得が期待でき、北陸方面との広域的な周遊観光が可能となります。

高山市に訪れる県外観光客割合



出典: 高山市観光統計 (H27)



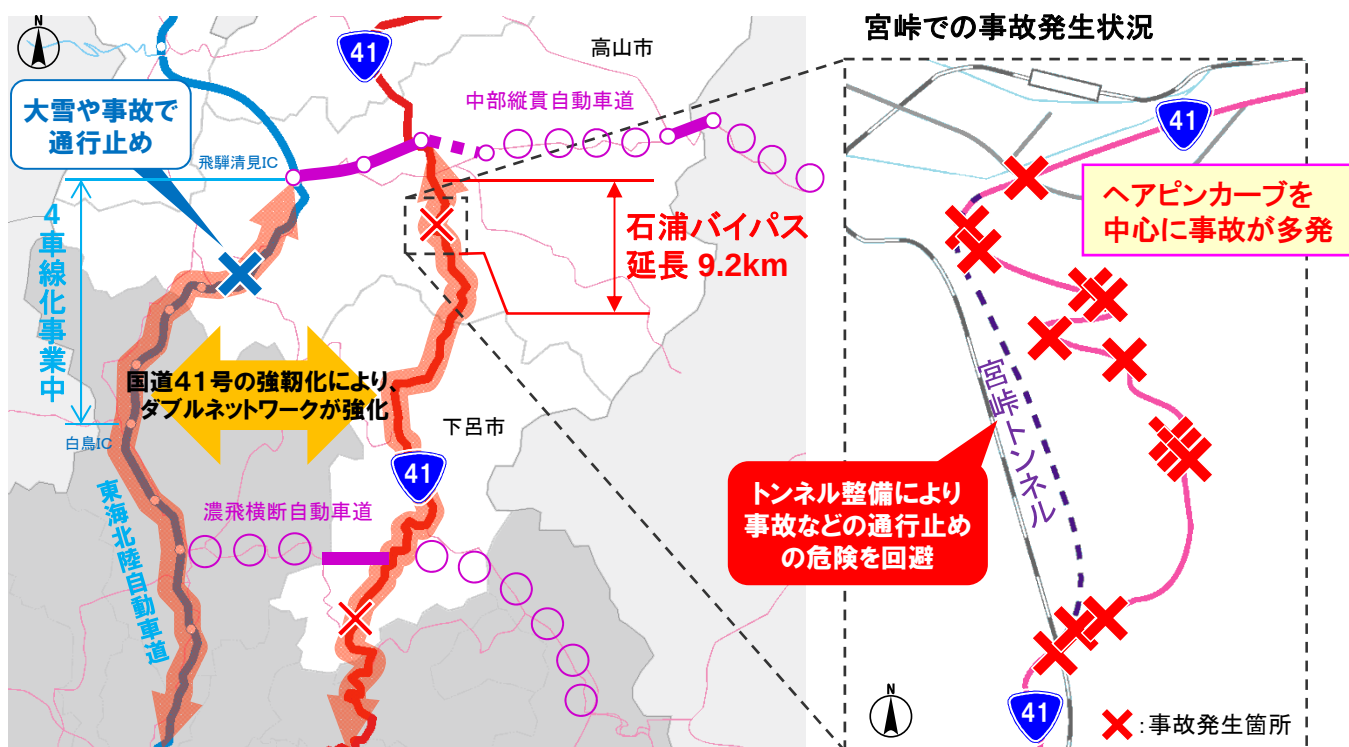
(2) 太平洋側と日本海側を繋ぐ南北軸の強化

太平洋側と日本海側を繋ぐ南北軸である国道41号が整備されることにより、東海北陸自動車道とのダブルネットワークの強化が図られ、国道41号の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を図ることができます。

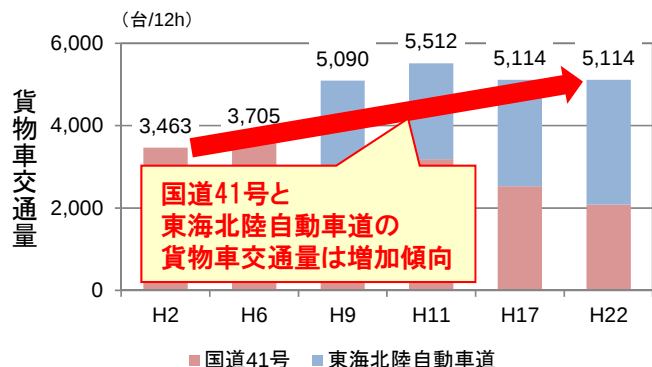
<国道41号の強靱化による物流の信頼性確保>

国道41号と東海北陸自動車道の貨物車交通量は、近年増加傾向にあり、物流面において重要な役割を担っております。

しかし、高山～下呂間の国道41号では、全面通行止めが5年間で46回発生(約1ヶ月に1回程度発生)し、1回あたりの平均通行止め時間は約3時間に及んでいます。また、並行する東海北陸自動車道でも、大雪や事故による通行止めが発生しており、国道41号の強靱化が必要となっています。国道41号の強靱化と東海北陸自動車道とのダブルネットワークにより、通行止めの危険性が減少し、物流の信頼性確保に寄与します。



国道41号と東海北陸自動車道の貨物車交通量の推移



・国道41号が通行止めになると、当社から製品が搬出できなくなり、生産ラインの関連工場の操業も止まってしまう。



出典: 下呂市内工場ヒアリング

(3) 日本風景街道

日本風景街道は、郷土愛を育み、日本列島の魅力・美しさを発見、創出するとともに、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かした国民的な原風景を創成する運動を促し、もって、地域活性化、観光振興に寄与し、これにより、国土文化の再興の一助となることを目的とします。

①「合掌・さくら」飛越街道～世界遺産をめぐる道～

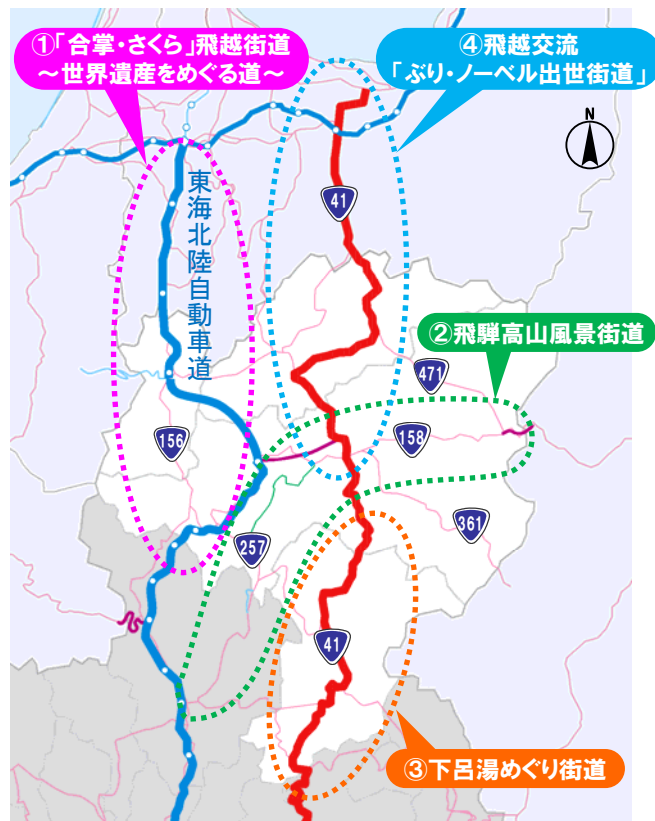
②飛騨高山風景街道

③下呂湯めぐり街道

④飛越交流「ぶり・ノーベル出世街道」

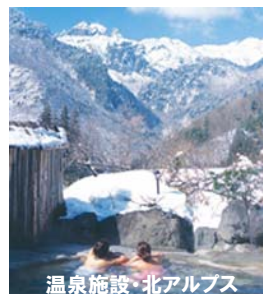


合掌・さくらの植樹活動



高山国道事務所管内の日本風景街道

地域のねらい

①「合掌・さくら」飛越街道～世界遺産をめぐる道～ 世界遺産である「白川・五箇山合掌造り集落」を中心に、自然・歴史・文化・風景などを通して、「訪れる人」との豊かな交流により地域の活性化を図るとともに、豊かな自然環境を保全しながら、美しい空間の形成を図る事を目的とする。  荘川桜	②飛騨高山風景街道 高山市街地及びその周辺に存在する自然・歴史・文化・風景などを通して、「訪れる人」との豊かな交流により地域の活性化を図るとともに、豊かな自然環境を保全しながら、美しい空間を創出する事を目的とする。  温泉施設・北アルプス
③下呂湯めぐり街道 日本三大名泉である「下呂温泉」を中心に存在する自然・歴史・文化・風景などを通して、「訪れる人」との豊かな交流により地域の活性化を図るとともに、豊かな自然環境を保全しながら、美しい空間の形成を図る事を目的とする。  小坂の滝めぐり	④飛越交流「ぶり・ノーベル出世街道」 豊かな自然やぶり・ノーベルをテーマにしたイベントを多くの人々に知ってもらい、歴史ある街道を軸として県境を越えた交流の活性化を図る事を目的とする。  笹津橋

2-2 使いやすく快適で円滑な道づくり

渋滞対策や交通安全対策を推進することにより、観光期等の交通集中による渋滞が招く地域生活への影響を緩和し円滑な交通の確保に貢献します。

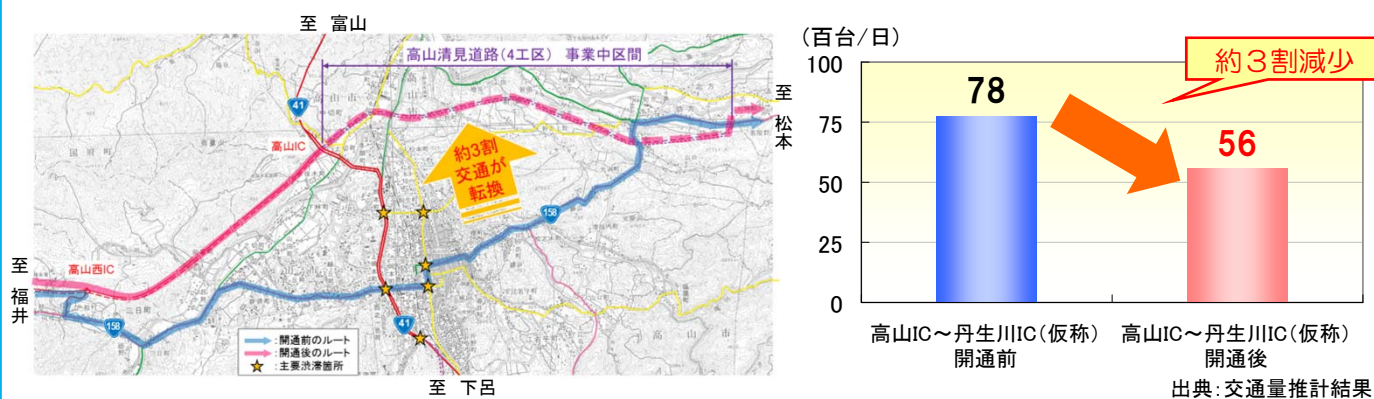
使いやすい快適で円滑な道づくりを目指すため、観光期に交通が集中する^{たかやま}高山市街地の渋滞緩和対策を行っていきます。

(1) ハード面による渋滞対策

使いやすい快適で円滑な道づくりを目指すため、^{たかやま}高山市街地の国道158号や周辺道路の渋滞緩和のための道路整備を実施していきます。

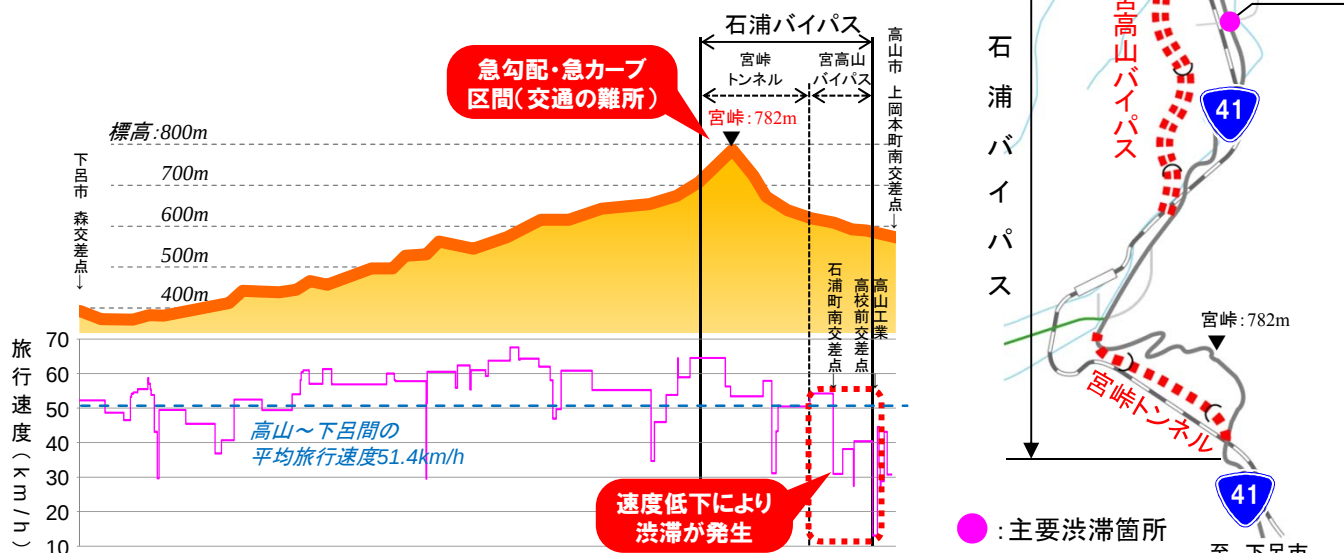
<高山市街地を通過する車両の分散(中部縦貫自動車道(高山清見道路))>

中部縦貫自動車道(高山清見道路)の整備により、^{たかやま}高山市街地を通過する交通の転換を図り、市街地の渋滞緩和に寄与します。



<高山市街地周辺の渋滞緩和対策(石浦バイパス)>

石浦バイパスの整備により、主要渋滞箇所の渋滞緩和に期待ができ、^{たかやま}高山市～^{いしうら}下呂市間のアクセス性向上に寄与します。



(2) たかやま 高山市内の渋滞緩和へ向けたソフト対策の実施

たかやま
高山市内の渋滞緩和に向けて、「交通分散を促す案内看板の設置」、「道路情報板の活用」、「快適なドライブのための事前情報提供」などの早期に効果が発現するソフト対策を実施していきます。

<国道158号の交通渋滞を緩和する取組み(例)>

■取組み: チラシによる渋滞回避おすすめルートの情報提供

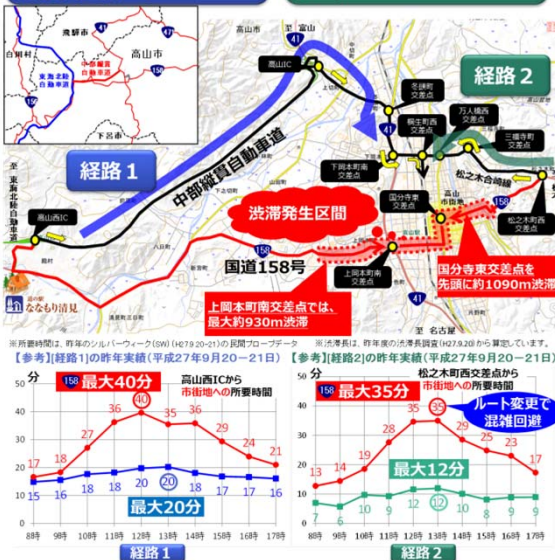
渋滞緩和への
ご協力をお願い致します!



～秋の高山祭期間のおすすめルート・駐車場情報のご案内～

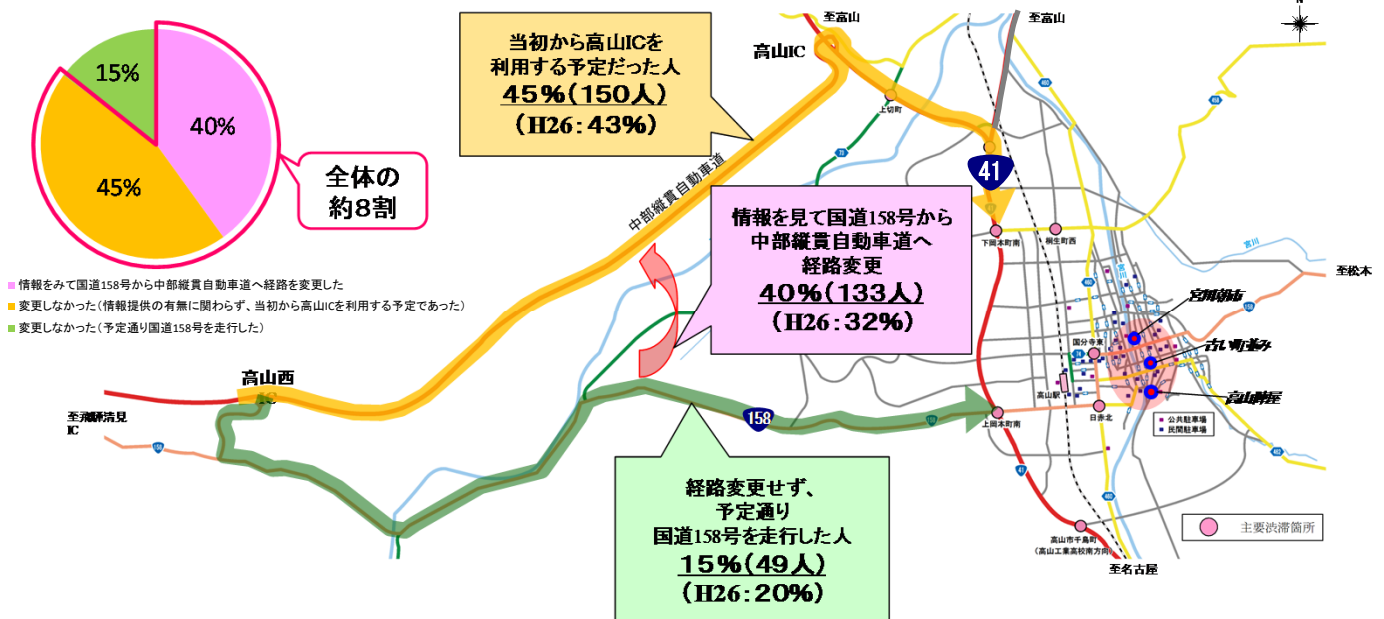
【経路1】
東海北陸自動車道方面から
のおすすめルート

【経路2】
松本方面からのおすすめ
ルート



■取組みによる経路選択の結果

【情報提供による経路変更の状況】※飛騨清見方面からの流入交通を対象として集計



資料: 高山市街地来訪者へのWEBアンケート結果より集計(秋の高山祭期間H27.10.9～10)

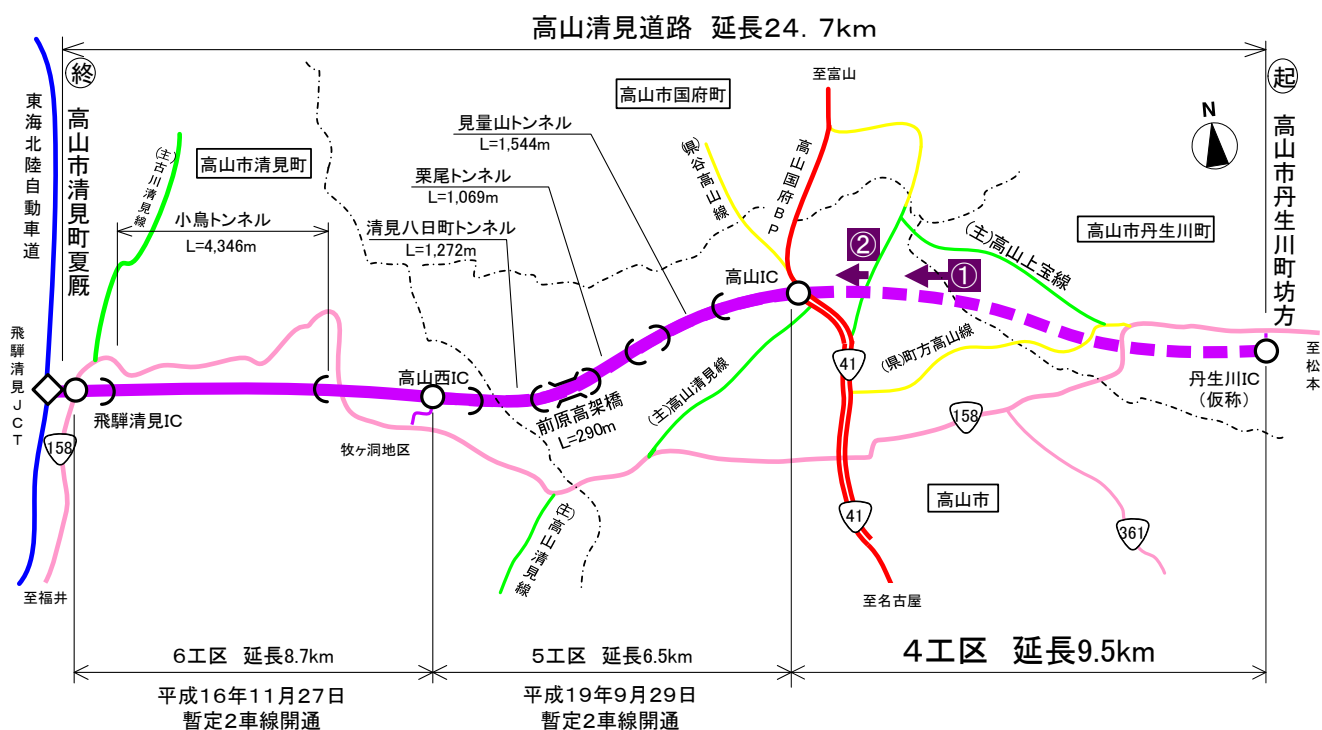
■高山清見道路（中部縦貫自動車道）

高山清見道路は、^{たかやまきよみ}高山市清見町夏厩～^{たかやましきよみちょうなつまや}高山市丹生川町坊方間の延長24.7kmの自動車専用道路※です。

特に観光期の高山市街地では、通過交通と地域内交通が混在し、激しい渋滞が発生しています。現在は、市街地の渋滞緩和に向け、^{たかやま}高山IC～^{にゅうかわ}丹生川IC（仮称）間の工事を実施しています。

本年度は、^{たかやま}高山IC～^{にゅうかわ}丹生川IC（仮称）間の早期開通を目標に、改良工、橋梁下部工、トンネル工、用地買収、埋蔵文化財調査、関係機関協議、道路設計、環境調査、水文調査を推進します。

※歩行者の他、自転車等の軽車両や原動機付自転車、125cc以下の自動二輪車の通行ができない道路



———：開通済区間 ——：事業中区間



上野第2トンネル坑口の工事状況



下切高架橋（仮称）下部工の工事状況

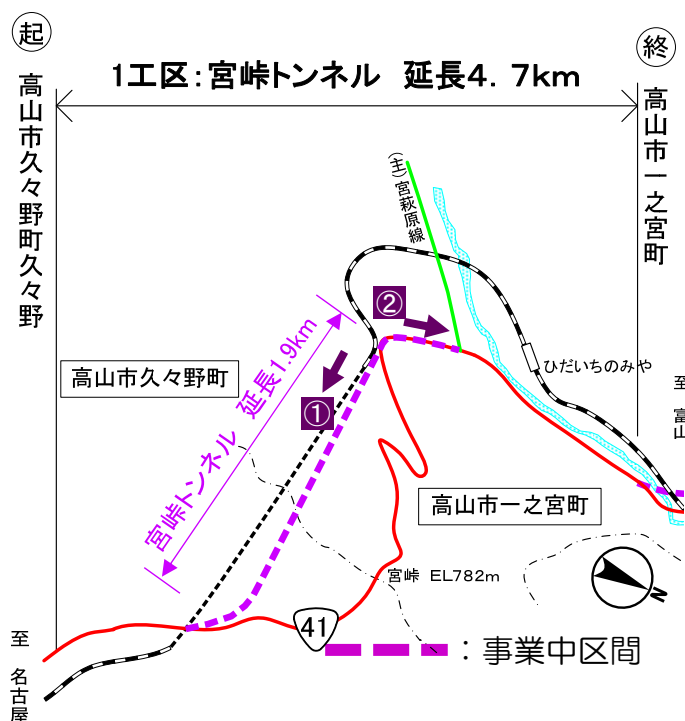
いしうら みやとうげ
■石浦バイパス（1工区：宮峠トンネル）

平成32年度 開通目標

いしうら みやとうげ たかやま くぐのちょうくぐの たかやま いちのみやまち
石浦バイパス（1工区：宮峠トンネル）は、高山市久々野町久々野～高山市一之宮町間の延長4.7kmの幹線道路です。

みやとうげ
宮峠トンネル区間の宮峠は、標高が782mあり、急勾配や急カーブが連続し、横転事故や大雪によるスタックが発生するなど、交通の難所となっています。トンネルが整備されることで、冬期通行の安全性・信頼性が向上します。

たかやま くぐのちょうくぐの たかやま いちのみやまち
本年度は、高山市久々野町久々野～高山市一之宮町間の平成32年度開通を目標に、改良工、橋梁上部工、トンネル工、用地買収、環境調査、水文調査、関係機関協議を推進します。



高山～名古屋間の交通難所（宮峠）



宮峠トンネル工事の状況

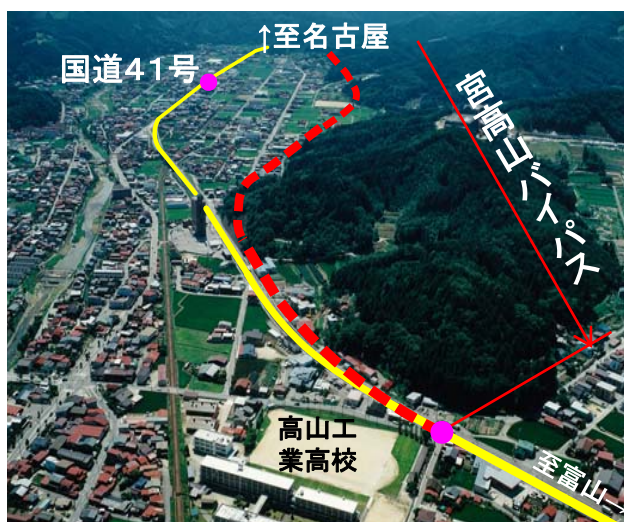
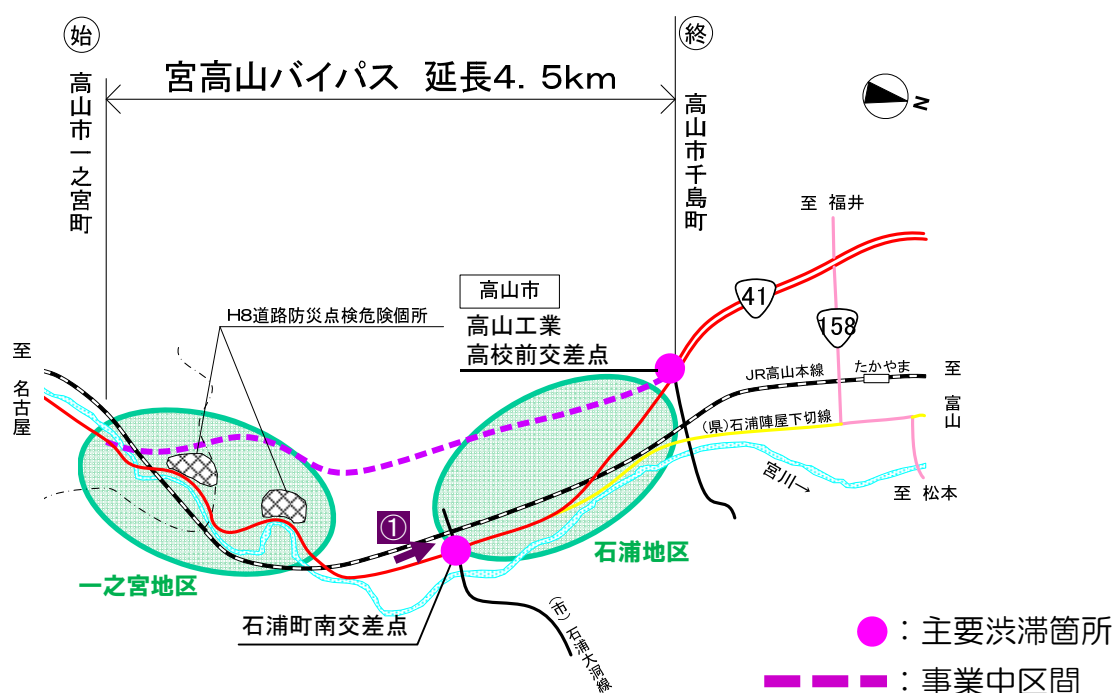


常泉寺川橋下部工工事の状況

■石浦バイパス（2工区：宮高山バイパス）

石浦バイパス（2工区：宮高山バイパス）は、高山市一之宮町～高山市千島町間の延長4.5kmの幹線道路です。

宮高山バイパス区間では、石浦地区周辺で朝夕の通勤時間帯や観光期などに渋滞が発生します。また、一之宮地区周辺では、落石危険箇所があり安全な交通を妨げる恐れがあります。バイパスが整備されることにより、渋滞の緩和や安全な通行が確保されます。本年度は、引き続き高山市一之宮町～千島町区間の用地取得を推進します。



主要渋滞箇所の回避

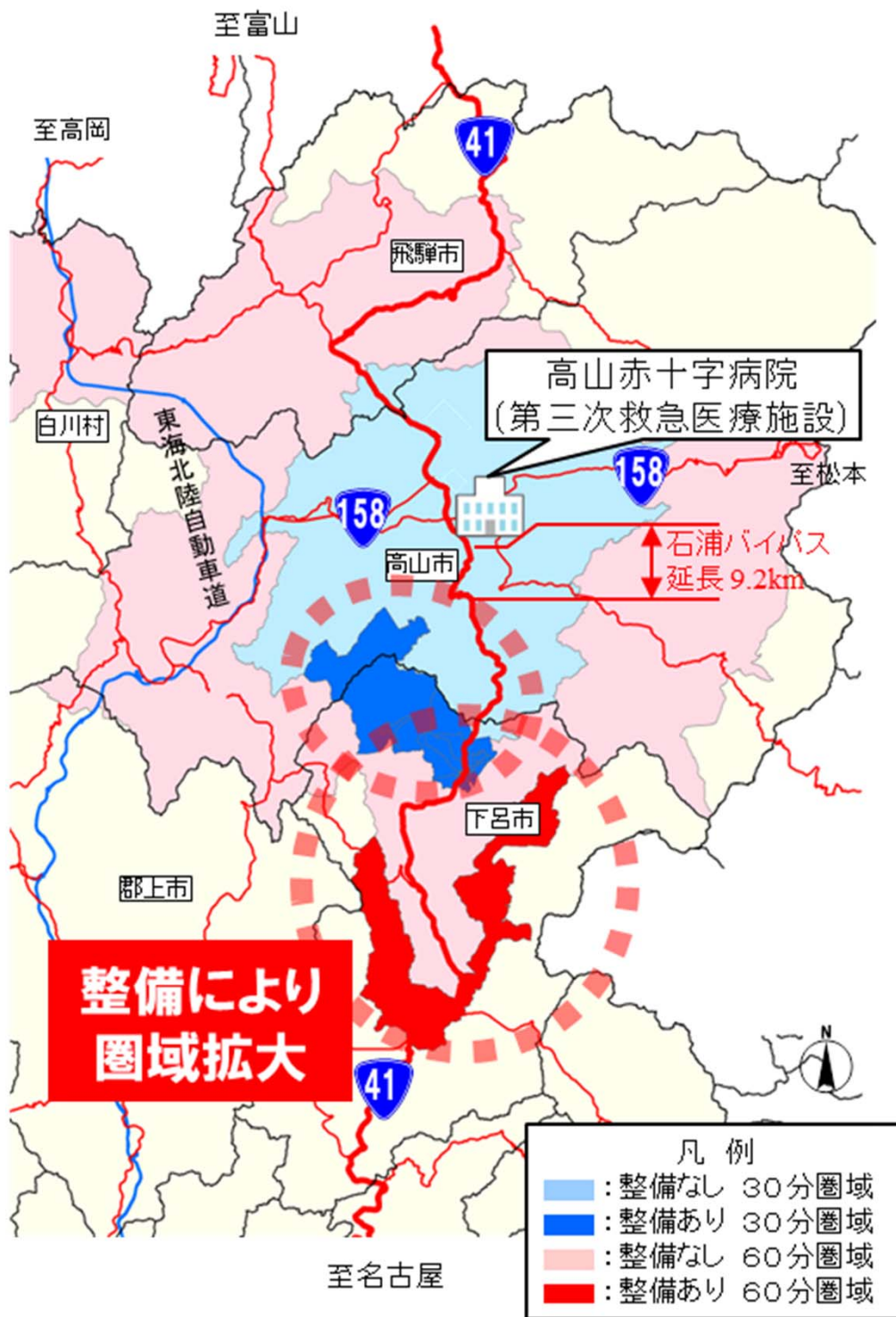


主要渋滞箇所：石浦町南交差点の渋滞発生状況

＜石浦バイパスの整備による救急搬送圏域の拡大＞

たかやませきじゅうじ

高山赤十字病院(第三次救急医療施設) 救急搬送30分圏域・60分圏域



救急搬送圏域人口の拡大

		整備なし	整備あり
高山 赤十字 病院	30分 圏域	約9. 6万人	下呂市人口の 約 10% をカバー
	60分 圏域	約13. 4万人	下呂市人口の 約 60% をカバー

3. 様々な危機に対応できる安全・安心な地域づくり

3-1 災害に強い安全・安心な道づくり

防災対策等を推進することにより、道路の安全な通行を確保し、災害時等における集落の孤立化を防ぎ、物資輸送路の確保等に貢献します。

(1) 災害に強いインフラの提供

我が国では、高度成長期以降に整備したインフラが今後急速に老朽化することが見込まれていることから、真に必要な社会資本整備とのバランスをとりながら、維持管理・更新（関係する点検・診断、評価、計画・設計及び修繕）を行うことが課題となっています。

安全・安心のインフラの提供を実現するために、メンテナンスサイクルの確立を目指します。

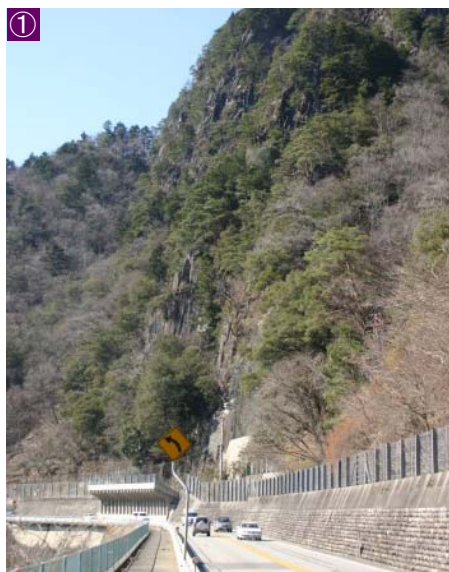
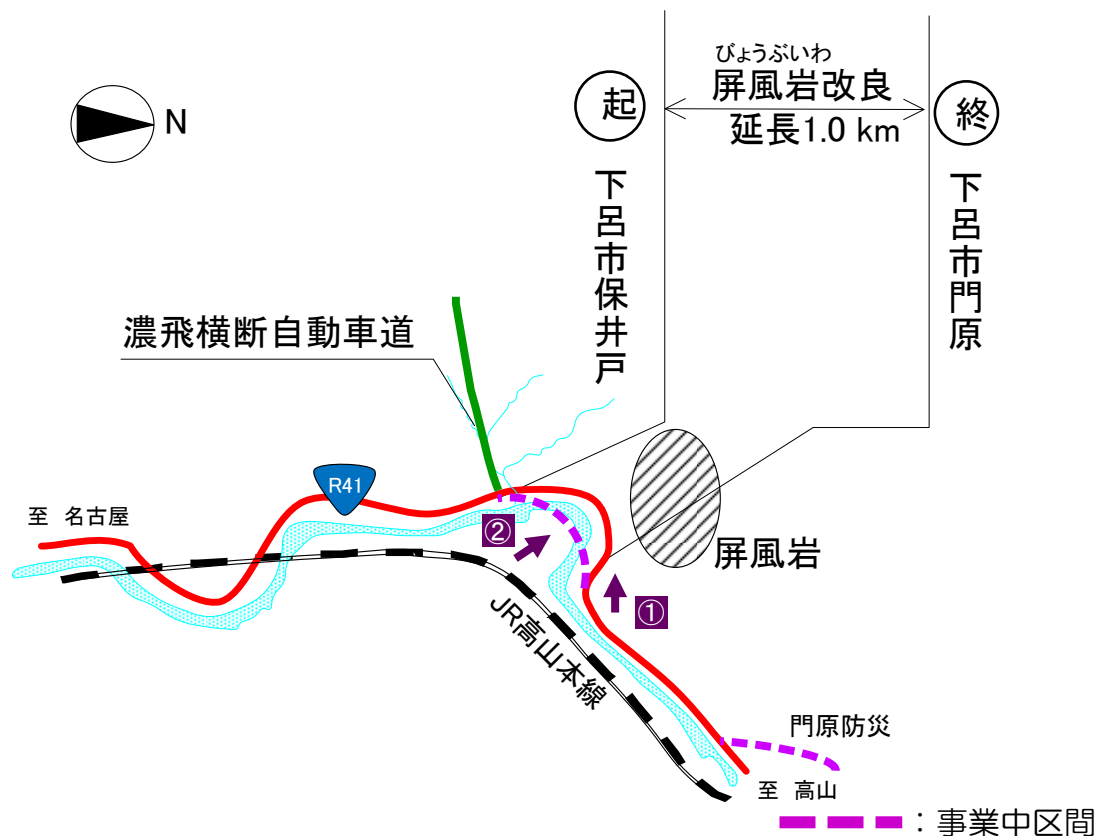
防災事業の実施

防災対策等を推進することにより、道路の安全な通行を確保し、災害時等における集落の孤立化を防ぎ、物資輸送路の確保や雨量規制区間の短縮など、地域産業の活性化に貢献します。

■びょうぶいわ屏風岩改良

びょうぶいわ屏風岩改良は、げろほいとげろかどはら下呂市保井戸～下呂市門原間の延長1.0kmの局部改良事業です。
びょうぶいわ屏風岩改良区間は、防災上危険な箇所があるため、災害が発生する可能性があります。
のうひおうだん濃飛横断自動車道と下呂市街地を結ぶ重要な区間であり、防災上の安全性・信頼性を確保することができます。

本年度は、早期開通へ向けて、関係機関協議を推進します。



高山方面から名古屋方面へ
屏風岩を望む



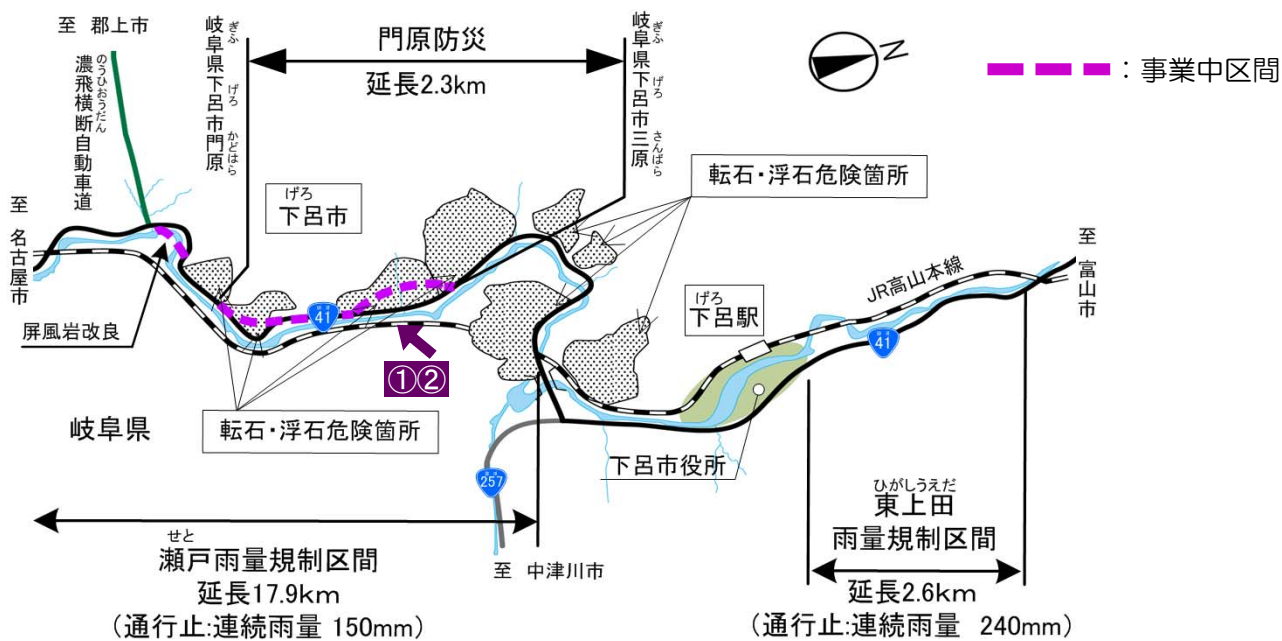
対岸から屏風岩を望む

かどはら
■門原防災

門原防災は、^{かどはら}下呂市門原～^{かどはら}下呂市三原間^{さんばら}の延長2.3kmの局部改良事業です。

下呂市門原地区では、平成25年11月に落石が発生するなど、防災上危険な箇所（転石・浮石危険箇所）が多数存在します。整備により、防災対策箇所の回避や雨量規制区間の緩和することができます。

本年度は、早期開通へ向けて測量、道路設計、環境調査、地質調査、関係機関協議を実施します。



平成25年11月27日に発生した
落石状況



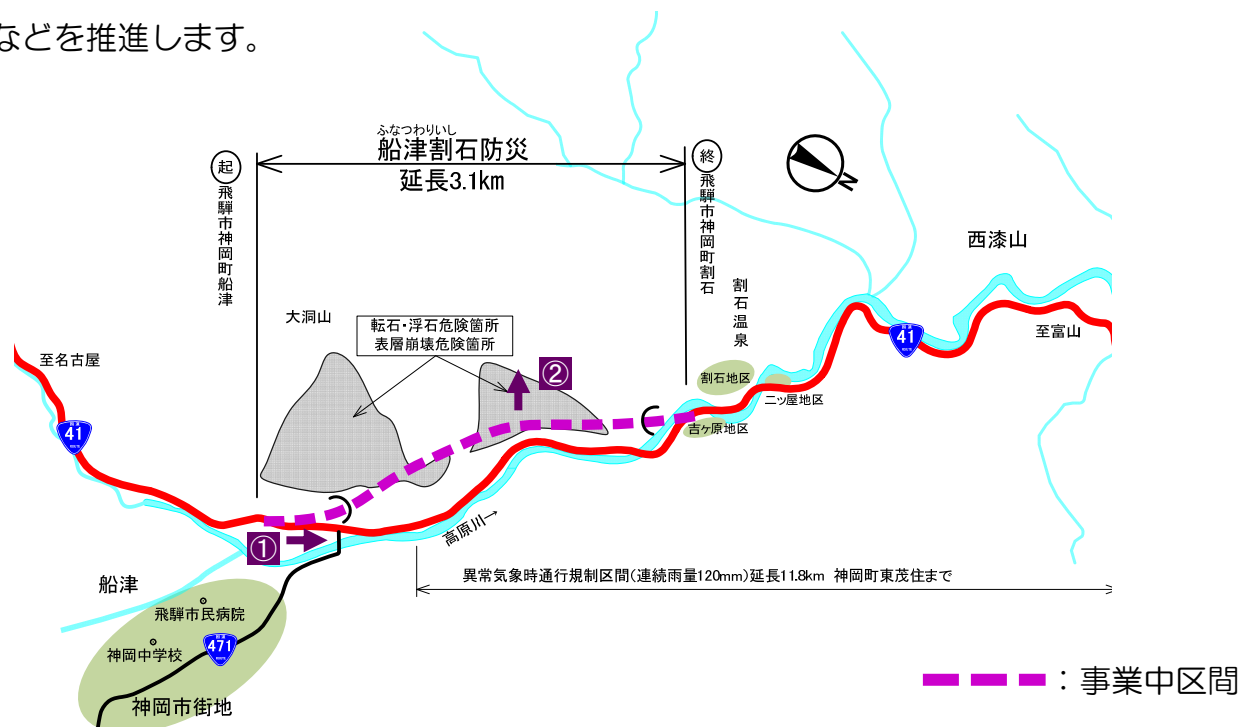
平成25年12月11日に実施した
落石除去の状況

■ 船津割石防災

船津割石防災は、飛騨市神岡町船津～飛騨市神岡町割石間の3.1 kmの局部改良事業です。

船津割石区間では、平成25年7月に落石事故が発生するなど、防災上危険な箇所が多数存在します。整備により、防災対策箇所の回避や雨量規制区間の短縮することができます。

本年度は、測量、用地調査、道路設計、環境調査、水文調査、地質調査、関係機関協議などを推進します。



平成25年7月7日落石事故発生



転石・浮石等危険箇所の状況

(2) 安全で安心に利用できる道路空間

交通事故が多発している区間及び地点について、事故防止対策として「事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）」を実施し、道路を利用される方々や沿道住民の皆様が、安心して安全に利用できる道路空間を目指します。

① 交通安全対策

事故対策	整備前 	整備後 	【右折車線の設置】 右折車線が無い交差点部において、右折待ち車両への追突事故などを防止するため、右折車線を設置し、交通事故の削減を図ります。
歩道整備	整備前 	整備後 	【歩道設置】 通学路など歩行者の安全を守るため、歩道の新設、拡幅などの整備のほか、歩道の外側への転落を防ぐ転落防止柵の設置なども行っています。
登坂車線設置	整備前 	整備後 	【登坂車線設置】 国道41号では登り坂が数多くあり、無理な追い越しを防止し、交通事故の削減を図ります。

② 交通安全施設等整備事業

たかやま
高山国道事務所管内の国道41号は、山岳地帯を通過している区間が多いことから急勾配・急カーブが連続する道路状況となっています。

速度の遅い大型車の影響を除くための登坂車線の整備は、冬期の交通の確保にも役に立ちます。



■井尻歩道拡幅

平成29年度 新規事業化

げ ろ かなやまちょうかなやま

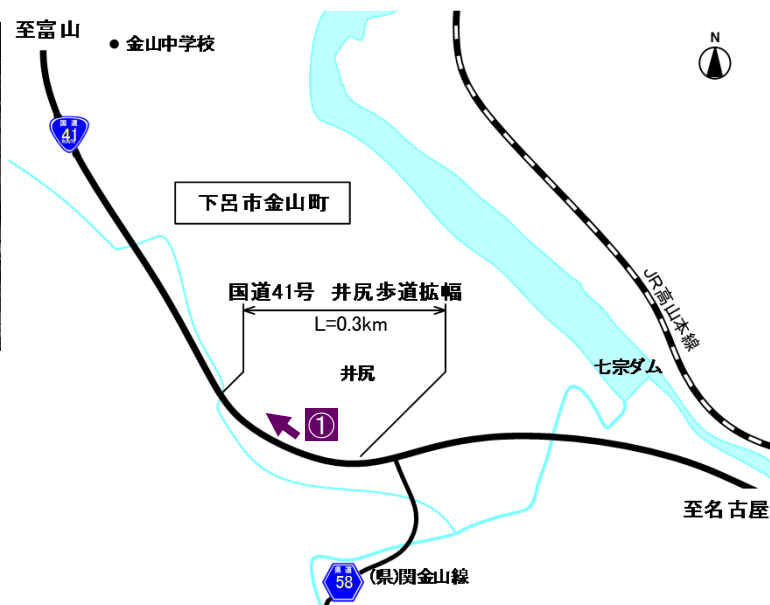
下呂市金山町金山地内において、歩道拡幅を実施します。

当該箇所は、学校指定の通学路となっていることや、集落からバス停への歩行経路であるものの、歩道が狭隘な箇所があり、車両すれ違い時の接触の危険性が高いことから、歩道拡幅が必要となっています。

本年度は、該当区間において、調査設計・工事を推進します。



狭い歩道のため車両との接触事故の危険性がある通学路



■中切付加車線事業

げ ろ かなやまちょうなかぎり

下呂市金山町中切地内において、付加車線の設置及び歩道整備を実施します。

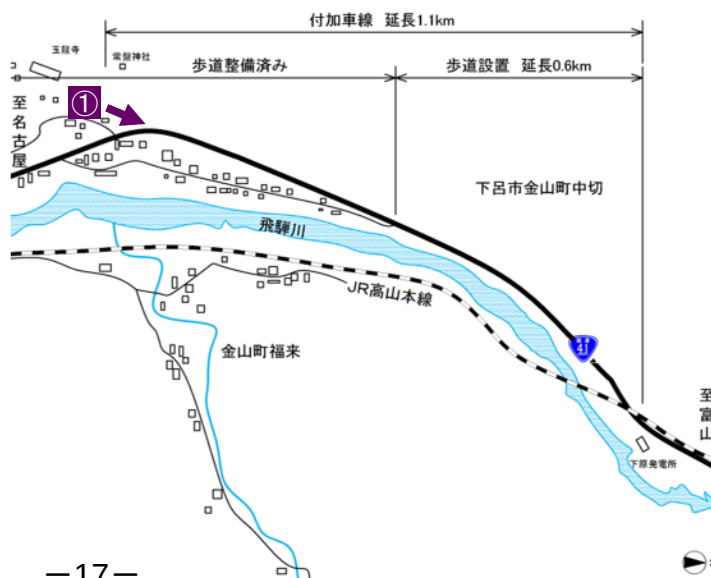
当該箇所は大型車等の低速車両により、走行車両の快適性が低下しており、後続車の無理な追越し等による交通事故が発生し、付加車線の設置による、車両衝突事故の対策が必要となっています。

また、当該地域は景勝地であり、写真を撮影する観光客が多いものの、歩道が整備されていないため、安全で快適な歩行空間が必要となっています。

本年度は、該当区間において、調査設計を推進します。



低速車両を回避するため後続車の無理な追越しが発生



みやだ
■宮田歩道整備 平成29年度 新規事業化

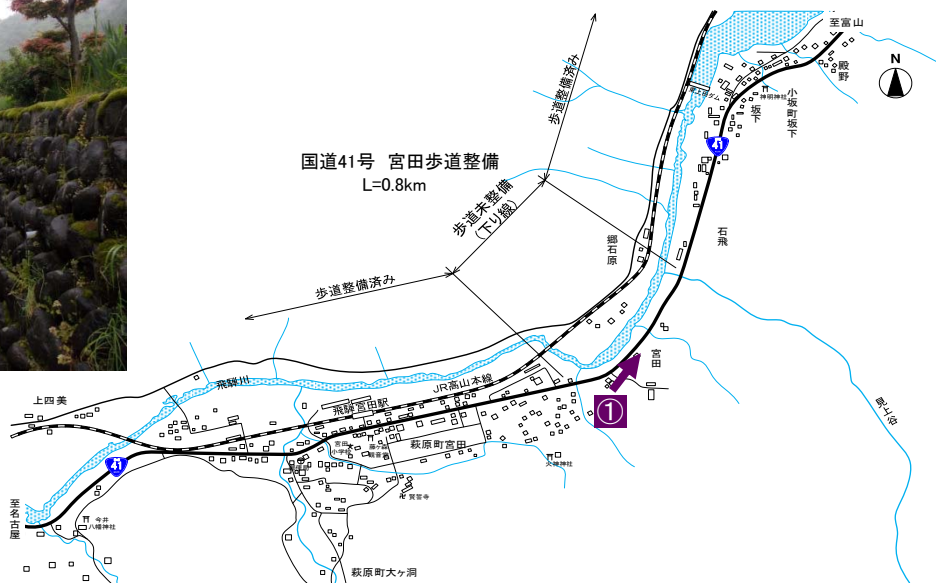
げろ はぎわらちよう みやだ
下呂市萩原町宮田地内において、歩道の整備を実施します。

当該箇所は、上り線側に歩道が設置されていますが歩道幅員が狭く、車両との接触事故が発生する恐れがあり、通行に支障をきたしています。下り線側に歩道整備を行うことで、歩道の連続性と利用者の安全な通行を確保します。

本年度は、該当区間において、調査設計、用地取得を推進します。



狭い上り線側の歩道
(下り線側は歩道未整備)



なしがね
■梨ヶ根登坂

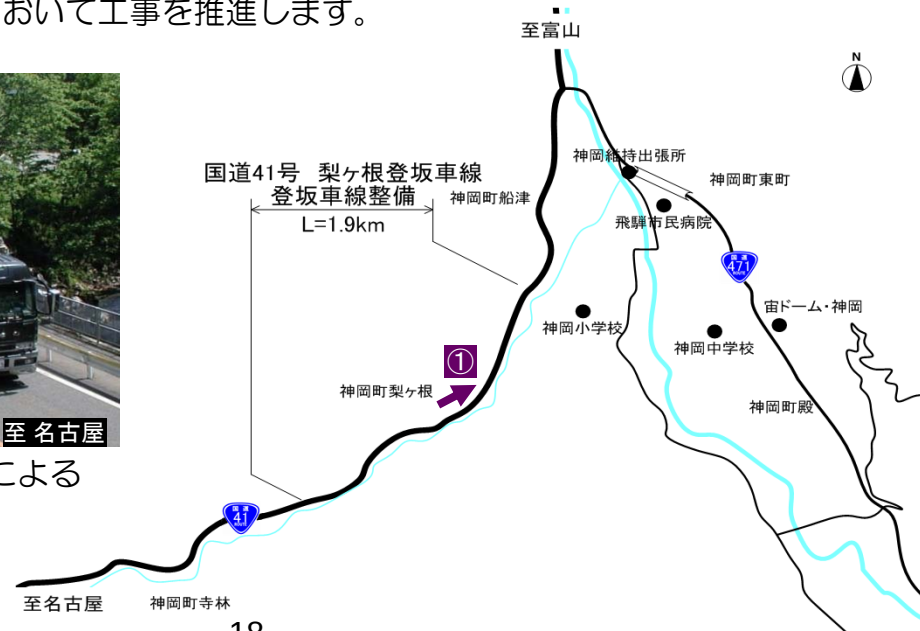
ひだ かみおかちよう なしがね
飛騨市神岡町梨ヶ根地内において、登坂車線を設置します。

登坂車線の不連続区間を解消することで、低速車の無理な追い越しを防止し、交通事故の削減を目指します。事故や冬期にスタック車両が発生した場合、登坂車線を設置することで、交通の確保が図れます。

本年度は、該当区間において工事を推進します。



急勾配のため低速車両による
渋滞発生



（３）将来にわたるインフラ機能の維持

① 道路インフラの長寿命化

高度経済成長期に整備されてきた橋梁等の老朽化が進み維持管理費の増大が予想されます。定期的な点検により、早期に損傷や劣化を発見し、大規模な修繕や更新に至る前に対策を実施し、長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を図るために、メンテナンスサイクルを推進します。



メンテナンス
サイクルの推進



自治体職員などへの支援

- ・ 研修の充実、強化



② 道路インフラの維持・修繕

道路のパトロールによって発見された路面や道路施設の傷んだ部分は、安全・快適な通行ができるよう補修を行っています。また、除草や路面などの清掃を行い道路の機能を保持するように努めています。

■ 道路のパトロール

道路の状況を把握し、安全に利用できるよう、路面や道路付属物（防護柵、照明灯・標識など）に異常がないかパトロールを実施しています。
また道路の橋やトンネル、土を盛って作った斜面、落石危険箇所なども定期的に点検しています。



道路パトロールカー

■ 舗装修繕の様子



対策前



対策後



除草作業の様子



道路に空いた穴を埋める様子

③ 冬期道路交通への対策

飛騨地域は、積雪が多く寒冷な気候のため、ロータリー除雪車、除雪トラックなどを用いて除雪を行っています。また、雪崩の危険性のある箇所については、雪崩予防柵や雪崩を受け流すスノーシェッドなどの設置といった防雪対策も行っています。



ロータリー除雪車



除雪トラック



雪崩予防柵



スノーシェッド

除雪作業の様子

④ 道路インフラを安全に利用するための施設の整備及び保守

道路を安全に利用して頂くために、冬期の凍結防止剤散布装置などの維持管理用建設機械やトンネルジェットファン、道路冠水を防ぐポンプ設備などの道路管理用機械設備の整備・保守・点検などを実施します。



定置式凍結防止剤散布装置



トンネルジェットファン
〔トンネル内の有害物質を排気し
新鮮な空気を取り込む機器〕

⑤ 交通状況把握するための電気通信施設整備及び保守

道路利用者が管内の交通状況を把握するための道路情報板、管内の道路をリアルタイムで状況確認するためのCCTVカメラなどの電気通信施設の整備及び保全を実施します。



道路情報板



CCTVカメラ（管内の道路をリアルタイムで状況確認）



3-2 災害支援

大規模な自然災害等に際して被災状況の把握や被災地方自治体の支援を行い、被災地の早期復旧のための技術的支援を迅速に進めます。

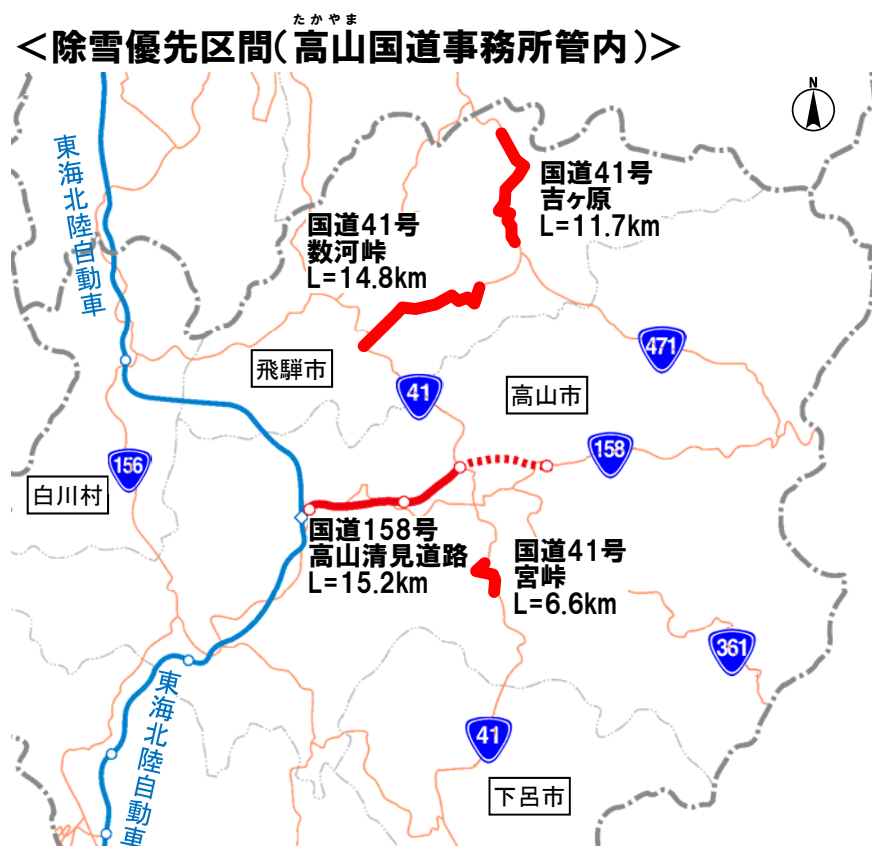
(1) 災害時の道路利用者の安全確保

大雪時の早期通行止めの実施

中部地方は、平成26年12月の記録的な降雪により、高速道路や直轄国道などで通行止めや立ち往生車両が発生し、長期間にわたり道路交通に甚大な影響を受けました。

災害時の道路利用者の安全を確保するために、大雪時の早期通行止めの実施や災害対応訓練などを行っていきます。

<除雪優先区間(高山国道事務所管内)>



<災害時の対応訓練>



スノーローダによる被災車両の救出



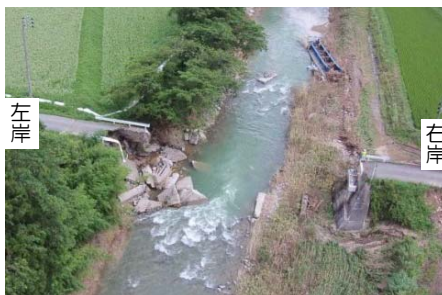
人力移動訓練

（２）災害時の地域支援

たかやま
高山国道事務所では、自然災害等に際して被災状況の把握や被災地方自治体の支援を行い、地域の皆さまの1日でも早く通常の生活に戻って頂くために、被災地の早期復旧のための地域支援を進めます。

＜平成26年8月豪雨 孤立集落の解消に向けた早期復旧支援＞

たかやま きよみ たかやま
高山市清見地区と高山中心市街地を結ぶ路線において、2箇所の橋梁が流出しました。
みやまえ
宮前橋の左岸にある集落では、3世帯が孤立しました。TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）による支援活動により、約10日間で仮復旧が完成し、孤立が解消しました。



宮前橋が落橋し、左岸3世帯が孤立



被害状況調査



住民の方へ工事状況説明



10日間ぶりに孤立3世帯と地域のコミュニケーションが再開



地元町内会長からの感謝状

＜平成26年12月大雪 停電地域への電源供給車の派遣＞

たかやま
平成26年12月の大雪により、高山市内では、大規模な停電が発生しました。そのため、停電地域の浄水場の電力を確保するため、電源供給車を派遣しました。



停電地域の浄水場へ電源供給車を派遣



安定した上水道の確保のため
浄水場に電源供給車が到着

3-3 「道の駅」による地方創生拠点の形成

平成5年の制度創設以来、現在では全国で1,107箇所（H29.4.1現在）に広がり、地方創生を具体的に実現していくためのきわめて有力な手段としてその重要性が高まっています。

「道の駅」を地方創生の拠点とするため、多言語に対応する案内など外国人観光案内所認定の取得、電気自動車（EV）による周遊観光を可能とするEV充電施設の設置、雨量規制時などの災害が発生した場合に対応する防災拠点化などの機能強化について関係機関と連携し、支援していきます。

<「道の駅」における地方創生拠点の形成へ向けた取組み>

「道の駅」が活力を呼び、
雇用を創出、
地域の好循環へ

地域外から活力を呼ぶ ゲートウェイ型

地域の観光総合窓口機能
インバウンド観光の促進
地方移住等の促進



地域の元気を創る 地域センター型

地域の産業振興
地域福祉の向上
高度な防災機能

【 日本政府観光局認定の外国人観光案内所】

飛騨街道なぎさ(カテゴリー1※1)

白川郷(パートナー施設※2)

【 EV充電施設の設置】

設置済み:

桜の郷荘川、パスカル清見、ななもり清見、
飛騨街道なぎさ、白川郷、アルプ飛騨古川、
ひだ朝日村、南飛騨小坂

【 無料公衆無線LANの設置】

設置済み:

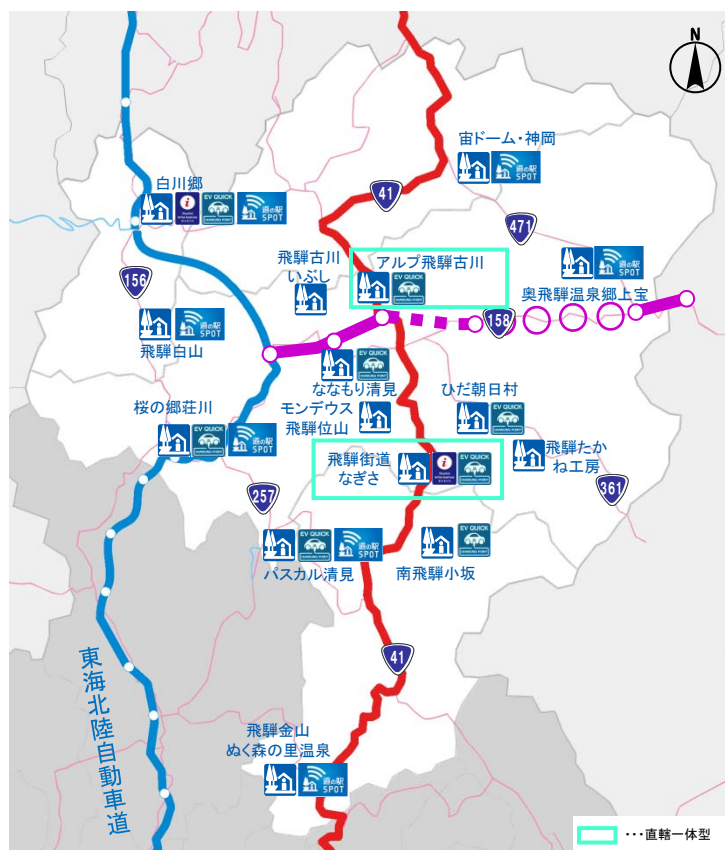
宙ドーム・神岡、奥飛騨温泉郷上宝、
飛騨金山ぬく森の里温泉、飛騨白山、
桜の郷荘川、パスカル清見、白川郷



EV充電施設



無料公衆無線LAN



高山国道事務所管内の「道の駅」

※1: 常駐でなくとも何らかの方法で英語対応可能。地域の案内を提供。

※2: 観光案内を専業としない施設であっても、外国人旅行者を積極的に受け入れる意欲があり、公平・中立な立場で地域の案内を提供。

<道の駅「飛騨金山ぬく森の里温泉」が重点道の駅に選定>

平成28年1月に地方創生の核となる特に優れた取組を実施する「道の駅」(重点「道の駅」)に道の駅「飛騨金山ぬく森の里温泉」が選定されました。

参考URL : http://www.cbr.mlit.go.jp/michinoeki/pdf/h280127_michieki.pdf

①地域福祉

①-1宅配サービス・見守り

地元スーパーと連携し宅配、見守り

①-2子供が安心して遊べる公園

安心して散策、遊べる見通しのよい空間、多目的トイレ

高齢者 リハビリ散歩

子供の遊び場

①-3 三次救急医療の提供

岐阜大学医学部附属病院と連携したドクターヘリによる救急医療

②交通結節点

②-1コミュニティバス

バス停を道の駅に配置し、デマンド機能で地域住民の利便性を向上

②-2機能の充実

EV充電機能を追加し機能の充実

④観光総合窓口

④-1観光総合窓口

観光案内所を新設・地域資源や体験、地域イベントを案内

④-2インバウンド観光

外国人対応のパンフレット、通訳と電話で対応

⑤交流・連携

⑤-1やすらぎ館拡充

施設内容の充実スーパー機能を追加し、地域住民の利便性を向上

③防災

③-1ヘリポートとの連携

既存のヘリポートを利用し、災害時に高度な対応を行う

③-2太陽光発電・防災倉庫・防災トイレ

太陽光発電の増設により、施設の電力をカバー

<道の駅「桜の郷荘川」が住民サービス部門モデル「道の駅」に認定>

平成28年10月に全国各地の「道の駅」の模範となって広く周知することで、質的向上に寄与する「道の駅」として、道の駅「桜の郷荘川」が住民サービス部門モデル「道の駅」に認定されました。

参考URL : http://www.cbr.mlit.go.jp/michinoeki/theme_model01.html

平成28年度 住民サービス部門モデル「道の駅」

国土交通大臣認定

中山間地域及び漁村地域等において、高齢化社会に対応した地域福祉向上のための取組、地域課題に対応した住民生活支援のための取組、小さな拠点形成を目指した取組など、公共の福祉を増進することを目的とした地域住民へのサービス向上に資する取組を、現在実施し成果をあげているもの

道の駅「桜の郷荘川」

石井大臣より認定証を受ける高山市長

健康増進に資する取り組みの実施

◇地元高齢者など荘川地区の住民に対し、温泉施設へ無料送迎を実施。



無料送迎サービス

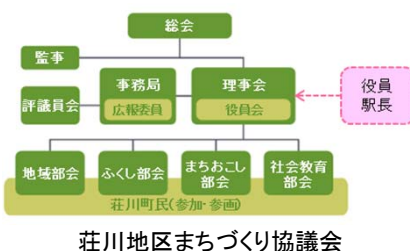
◇屋内運動場を活用した、地域住民の健康増進の取組を開催。



荘川町シルバースポーツフェスティバル

地区のまちづくり協議会との連携

◇駅長が荘川地区まちづくり協議会に積極的に参画し、道の駅との連携を深め、取組全般に渡りマネージメント



荘川地区まちづくり協議会

4. 高山国道事務所の概要

4-1 高山国道事務所事業費

(単位：百万円)

路線名	事業名	延長	区間	事業費
国道158号 中部縦貫自動車道	たかやまきよみ 高山清見道路	24.7km	起：岐阜県高山市丹生川町坊方 終：岐阜県高山市清見町夏廐	3,920
国道41号	いしうら 石浦バイパス	9.2km	起：岐阜県高山市久々野町久々野 終：岐阜県高山市千島町	2,900
	びょうふいわ 屏風岩改良	1.0km	起：岐阜県下呂市保井戸 終：岐阜県下呂市門原	40
	かどはら 門原防災	2.3km	起：岐阜県下呂市門原 終：岐阜県下呂市三原	100
	ふなつわりいし 船津割石防災	3.1km	起：岐阜県飛騨市神岡町船津 終：岐阜県飛騨市神岡町割石	100
合計				7,060
交通事故重点対策事業				24
道路交通安全施設等設置事業				749

4-2 平成29年度の事業内容

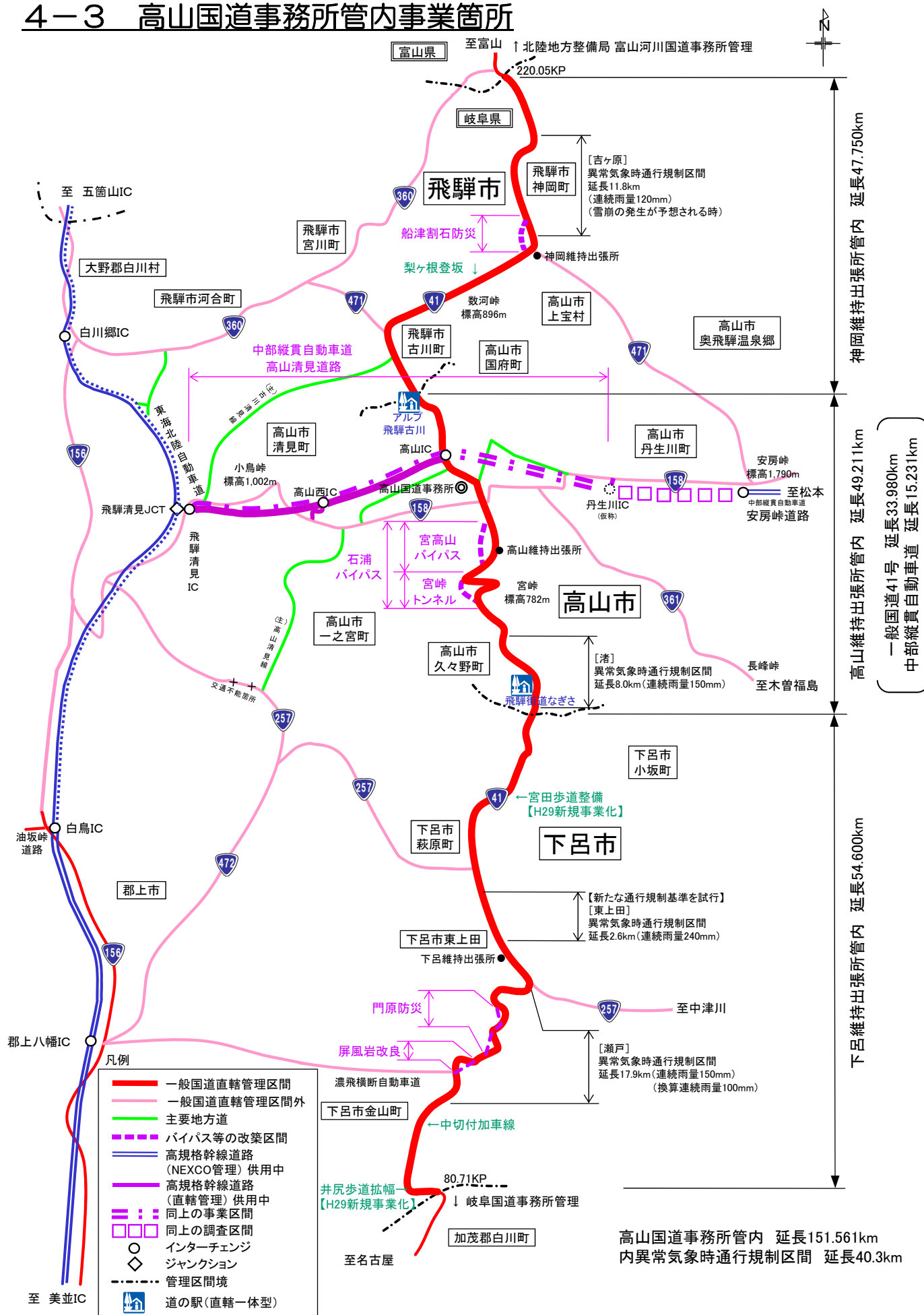
(1) 改築事業

高山清見道路 (中部縦貫自動車道)	高山IC～丹生川IC(仮称)間の早期開通を目標に、改良工、橋梁下部工、トンネル工、用地取得、埋蔵文化財調査、道路設計、環境調査、水文調査、関係機関協議を推進します。
石浦バイパス 1工区：宮峠トンネル	高山市久々野町久々野～高山市一之宮町間の平成32年度開通を目標に、改良工、橋梁上部工、トンネル工、用地取得、環境調査、水文調査、関係機関協議を推進します。
2工区：宮高山バイパス	高山市一之宮町～高山市千島町間の早期開通を目標に、用地取得を推進します。
屏風岩改良	下呂市保井戸～下呂市門原間の早期開通を目標に、関係機関協議を推進します。
門原防災	下呂市門原～下呂市三原間の早期開通を目標に、測量、道路設計、環境調査、水文調査、地質調査、関係機関協議を推進します。
船津割石防災	飛騨市門原～下呂市三原間の早期開通を目標に、測量、用地調査、道路設計、環境調査、水文調査、地質調査、関係機関協議を推進します。

(2) 交通安全事業

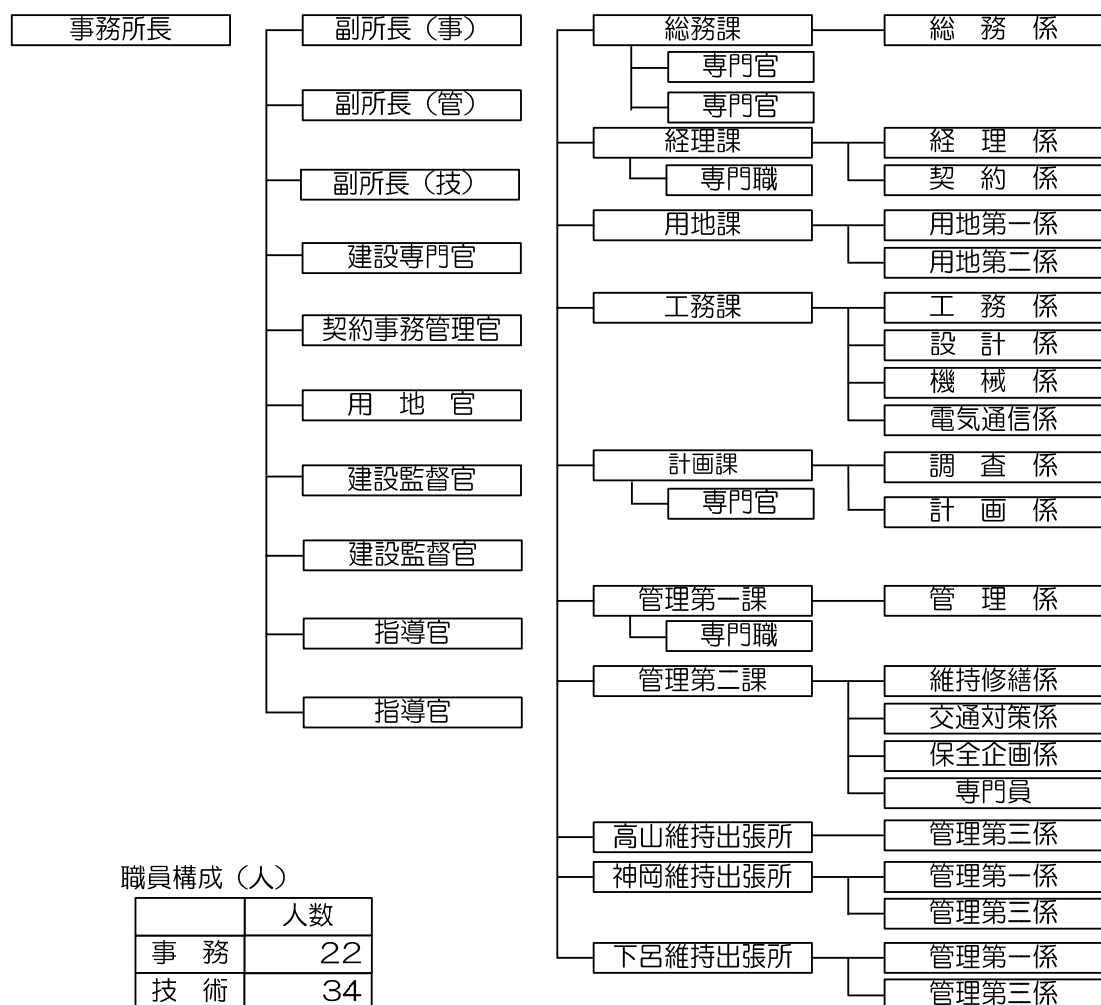
国道41号 井尻歩道拡幅	当該区間において、調査設計、用地取得、工事を推進します。
国道41号 中切付加車線	当該区間において、調査設計、用地取得を推進します。
国道41号 宮田歩道整備	当該区間において、調査設計、用地取得を推進します。
国道41号 梨ヶ根登坂	当該区間において、調査設計、用地取得、工事を推進します。

4-3 高山国道事務所管内事業箇所



4-4 高山国道事務所の組織及び職員構成

組織及び職員構成



職員構成(人)

	人数
事務	22
技術	34
計	56

国土交通省 中部地方整備局 高山国道事務所

〒506-0055 高山市上岡本町7-425

管理第一課 tel 0577-36-3823 fax 0577-36-3841 (1F)

管理第二課 tel 0577-36-3824 fax 0577-36-3801 (3F)

総務課 tel 0577-36-3811 fax 0577-36-3828 (2F)

経理課 tel 0577-36-3812 fax 0577-36-3828 (2F)

工務課 tel 0577-36-3821 fax 0577-36-3801 (3F)

計画課 tel 0577-36-3822 fax 0577-36-3801 (3F)

用地課 tel 0577-36-3813 fax 0577-36-3801 (3F)

ホームページ <http://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/>

高山維持出張所

〒506-0825 高山市石浦町1-274

tel 0577-34-3191 fax 0577-35-2468

神岡維持出張所

〒506-1111 飛騨市神岡町東町754

tel 0578-82-1166 fax 0578-82-6666

下呂維持出張所

〒509-2202 下呂市森851-1

tel 0576-25-4701 fax 0576-25-4702

道路緊急ダイヤル

tel #9910